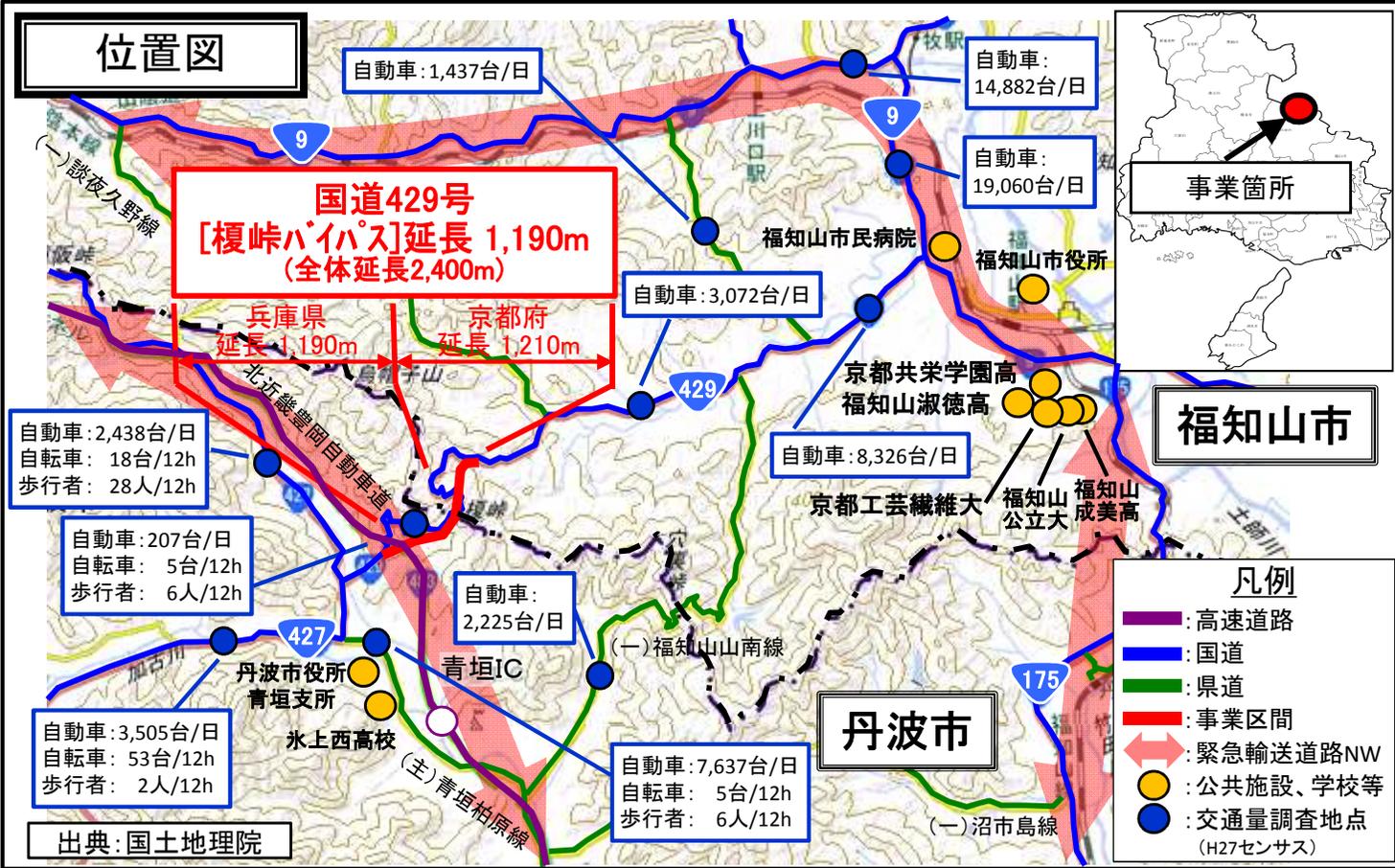


## 投資事業評価調書（新規）

<b>部課室名</b>	県土整備部土木局 道路街路課	<b>記入責任者職氏名</b> (担当者氏名)	道路街路課長 宇野 文章 (国道・橋梁班長 橋本 直樹)	<b>内線</b>	4362 (4378)	
<b>事業種目</b>	<b>事業名</b>	<b>事業区間</b>	<b>総事業費</b>	<b>内用地補償費</b>	<b>着手予定年度</b>	<b>完了予定年度</b>
道路事業	道路改築事業 一般国道 429 号 〔榎峠バイパス〕	兵庫県丹波市青垣 町中佐治（～京都府 福知山市談）	21 億円 (全体 43 億 円)	0.1 億円 (全体 0.6 億 円)	令和 2(2020) 年度	令和 8(2026) 年度
<b>事業目的</b>			<b>事業内容</b>			
<p>本路線は、岡山県倉敷市を起点とし、京都府福知山市に至る幹線道路であり、県内陸部を東西に結び、沿線地域の生活、産業を支える重要な路線である。</p> <p>○安全・安心で円滑な交通の確保 幅員狭小(最小幅員 3.0m)、急カーブが連続する峠部の未改良区間をバイパス整備することにより、安全・安心で円滑な交通を確保する。</p> <p>○地域間交流・連携の支援 丹波市青垣地域で取組む「体験型観光」や「滞在型交流」への来訪者のさらなる増加を促し、広域的な観光連携など地域間の交流・連携を支援する。</p> <p>○緊急輸送道路ネットワークの強化 緊急輸送道路である国道 9 号の一部は、異常気象時通行規制区間があり、代替路として、災害時の広域的な道路ネットワークを強化するとともに、丹波医療センターの府県域をまたいだ医療圏域の拡大を図る。</p>			<p>【延長】道路改築 1,190m (全体延長 2,400m)</p> <p>【構造規格】第 3 種第 3 級</p> <p>【計画幅員】2 車線 歩道なし 車道[明かり区間]6.0m (全幅 7.5m) [トンネル区間] 6.0m (全幅 7.0m)</p> <p>【計画交通量】 3,000 台/日 (R12 推計)</p> <p>【現況交通量】 自動車 207 台/日 (H27 センサス) 自転車 5 台/12h (H27 センサス) 歩行者 6 人/12h (H27 センサス)</p> <p>【負担割合】 国 50% 県 50%</p>			
<b>評価視点</b>		<b>評価結果の説明</b>				
(1) 必要性		<p>① 現道は急カーブが連続し、幅員狭小で普通車の離合さえ困難であり、特に冬の通行に支障がある。また、異常気象時通行規制区間があり、過去 5 年間に 3 度の通行止めが発生していることから、安全・安心で円滑な交通を確保する。</p> <p>② 丹波市青垣地域で取組む「体験型観光」や「滞在型交流」への来訪者のさらなる増加を促し、府県境を越えた広域的な観光連携による地域活性化を図る。また、廃校を利用した新たな民間企業誘致の取組みに、さらなる活用の可能性が拡大するほか、青垣工業団地の物流・利便性が向上し、地域の産業振興に寄与する。</p> <p>③ 異常気象時通行規制区間を有する国道 9 号(緊急輸送道路)の代替路として、災害時の広域的な緊急輸送道路ネットワークを強化する。また、福知山市内からのアクセス向上により、丹波医療センターの府県域をまたいだ医療圏域の拡大に寄与する。</p>				
(2) 有効性・効率性  (執行環境状況)		<p>① 費用便益比 <math>B/C=1.3</math></p> <p>② バイパス整備により、異常気象時通行規制区間が解消される。</p> <p>③ 丹波市長、福知山市長により構成する「国道 429 号(福知山丹波間)改修促進同盟会」、丹波・福知山両市議会議員、地元自治会により構成する「国道 429 号(福知山青垣間)改修促進合同協議会」が毎年早期整備の要望書提出や、決起大会を開催しており、地元の期待が大きい。</p> <p>④ 今年度から丹波市森林組合が事業地周辺の地籍調査に着手しており、早期用地取得に向けた取組みが進んでいる。</p> <p>⑤ バイパス整備後の現道の管理引継ぎについて、丹波市と協議が整っている。</p> <p>⑥ 事業着手時期について、京都府と協議が整っている。</p>				
(3) 環境適合性		<p>① 周辺には絶滅危惧種ホトケドジョウ(環境省レッドリスト: IB、兵庫県レッドリスト: Aランク(兵庫県では丹波市にのみ生息))の生息を確認していることから、ルート検討段階において、生息環境の保全に配慮したルートを選定した。</p>				
(4) 優先性		<p>① 「地域の防災道路強靱化プラン」に位置づけられており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上でも早期整備が必要である。</p> <p>② 青垣地域の「体験型観光」や「滞在型交流」、廃校を利用した新たな民間企業誘致など、丹波市の地域活性化に向けた取組を支援するためにも早期整備が必要である。</p>				
<b>【事後評価】</b> 対象・対象外		<p>① 地域の連携・交流等の効果や事業に対する地域住民の意見等の調査を実施し、事後評価を行う。</p>				

# 道路事業 一般国道429号〔榎峠バイパス〕

## 位置図



## 目的

- ①安全・安心で円滑な交通の確保
- ②地域間交流・連携の支援
- ③緊急輸送道路ネットワークの強化

## 事業概要

事業区間: 兵庫県丹波市青垣町中佐治<sup>なかさじ</sup> (～京都府福知山市談<sup>だん</sup>)

総事業費: 21億円(全体 43億円)

内用地補償費: 0.1億円(全体 0.6億円)

事業期間: R2～R8

事業概要: バイパス(トンネル)

延長: 1,190m(全体 2,400m)

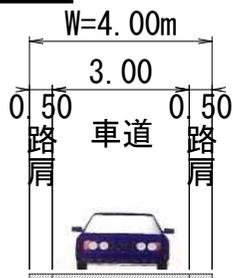
計画幅員: [明かり区間]6.0(7.5)m  
[トンネル区間] 6.0(7.0)m

計画交通量: 3,000台/日(R12推計)

B/C : 1.3

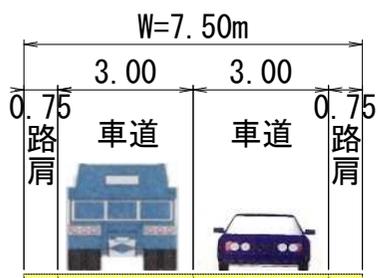
## 横断図

現況

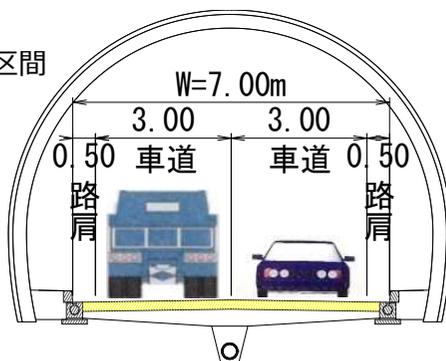


計画

明かり区間



トンネル区間



道路-2

## 工程表

工種	年度						
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
調査・設計	■						
用地補償		■					
道路改良			■	■	■	■	■

# 事業の必要性・優先性

①急カーブが連続し、幅員狭小で離合困難であり、特に積雪時には通行に支障をきたしている。また、兵庫県域は異常気象時通行規制区間で、過去5年間に3度の通行止めが発生しており、安全・安心で円滑な通行を確保する必要がある。

# 現況写真

①連続したヘアピンカーブ



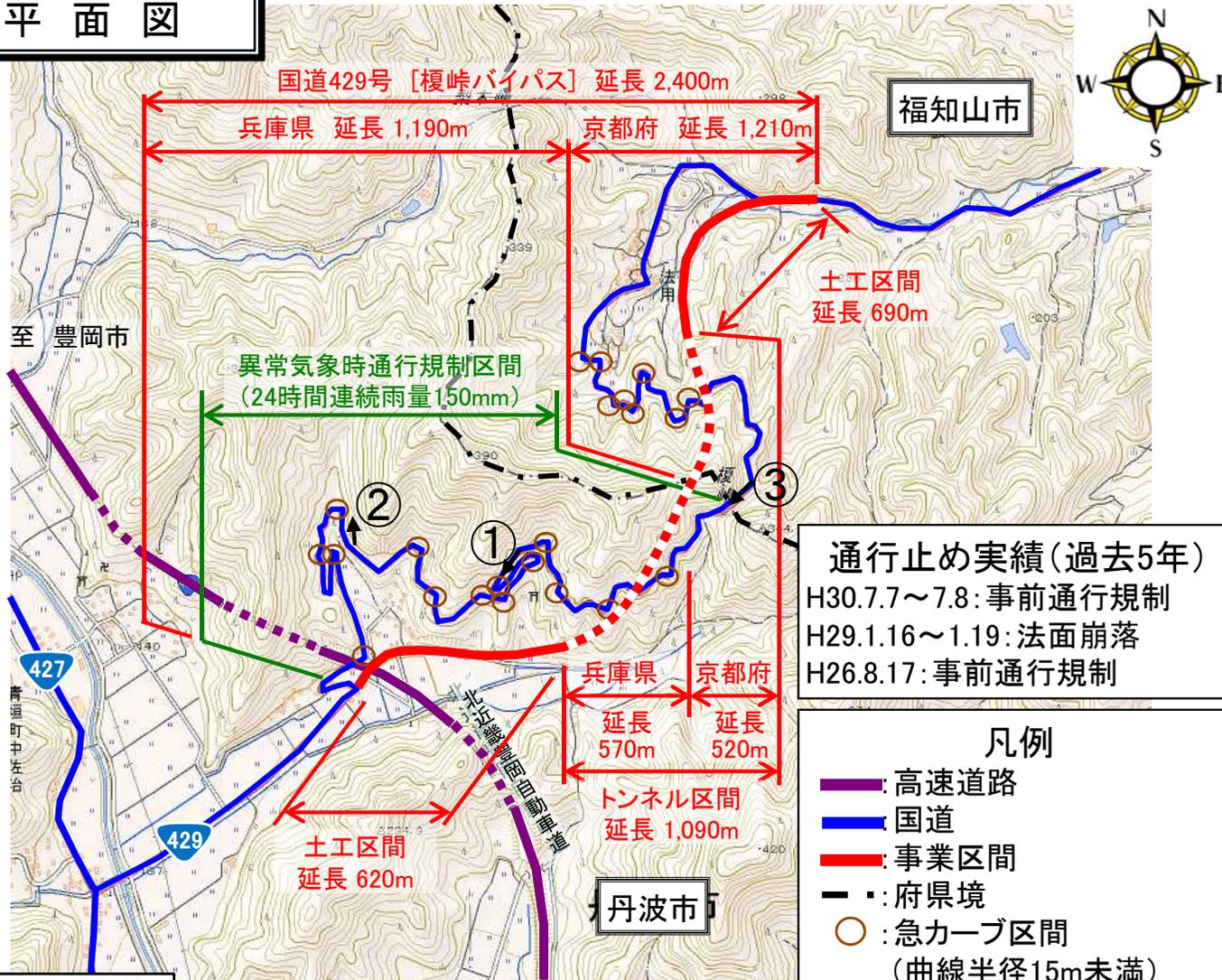
②幅員狭小な現道(離合困難)



③幅員狭小な現道(冬期の通行)



# 平面図



通行止め実績(過去5年)  
 H30.7.7~7.8: 事前通行規制  
 H29.1.16~1.19: 法面崩落  
 H26.8.17: 事前通行規制

- 凡例
- : 高速道路
  - : 国道
  - : 事業区間
  - - -: 府県境
  - : 急カーブ区間  
(曲線半径15m未満)

出典: 国土地理院

# 事業の必要性・優先性

②-1 榎峠バイパス整備により福知山市をはじめとする京丹後地域からのアクセスが改善され、丹波市青垣地域で取り組んでいる「体験型観光」や「滞在型交流」への来訪者のさらなる増加を促し、府県境を越えた広域的な観光連携による地域活性化を図る。

## 平面図



## ①今も続く地域間交流を支援



道の駅「あおがき」で開催される夏祭りには、福知山市のこども園・保育園の児童が毎年参加し、学生や地域住民と一緒に行灯を作成して祭りを賑わせている。

## ②「体験型観光」や「滞在型交流」を促進し、地域を活性化

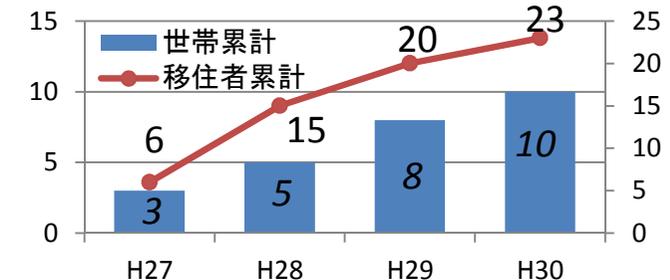
### ○滞在型交流

「神楽自治振興会」が築120年の古民家を再生し、1ヶ月単位で田舎暮らしをお試し体験できる「菅原体験古民家“かじかの郷”※」を運営 **のべ利用数 61世帯(H25~R1年)**  
 ※R1年11月で閉館予定。代替策として「農家民宿」の整備を進めている。

田舎暮らし体験イベント(年2回程度実施)には、毎回20家族80名程度が参加

移住者が増加

青垣地区のU・Iターン者数【神楽自治振興会調べ】



※「応相寺宅地分譲団地」では12区画のうち2区画が福知山市からの移住

→ バイパス整備により定住を促進

### ○体験型観光



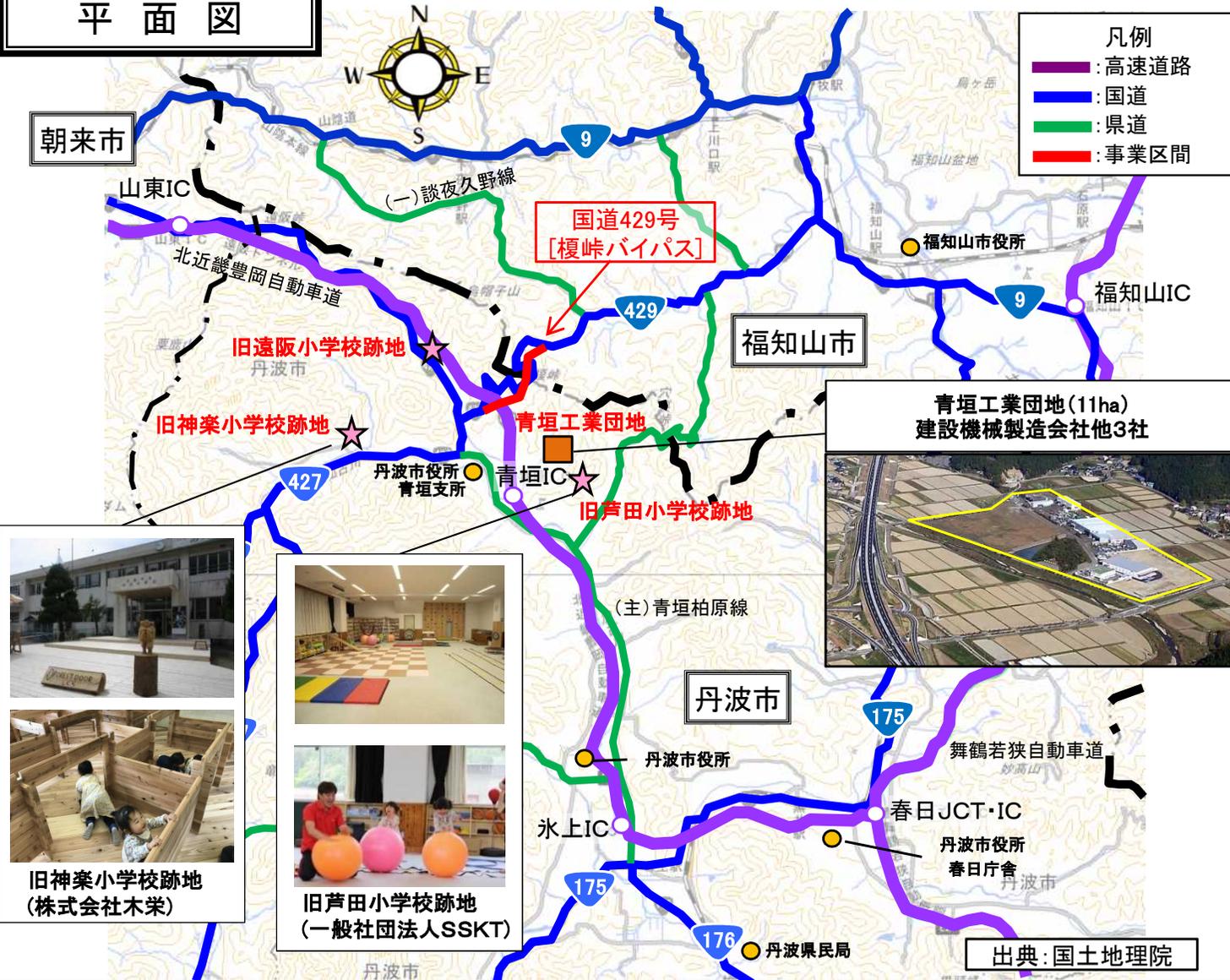
青垣町スカイスポーツ運営協議会 談

近年利用者は増加傾向。福知山方面からの利用者もいるので、トンネル化により福知山方面へ迎えに行くことも考えられる。利用者の増加につながるのではないか。

# 事業の必要性・優先性

②-2 丹波市では、廃校を利用した新たな民間企業の誘致を推進しており、交通の利便性が向上することで、廃校のさらなる活用の可能性が拡大するなど、地域の活性化を推進。また、青垣工業団地の物流・利便性が向上し、地域の産業振興に寄与する。

## 平面図



旧神楽小学校跡地  
 (株式会社木栄)



旧芦田小学校跡地  
 (一般社団法人SSKT)

## ①既存ストック(旧小学校跡地)を利用した企業進出

4校が統廃合し、3校が廃校

●旧神楽小学校跡地  
 (株)木栄が「FORESTDOORしぐら」を開設。  
 地場産材や国産材の魅力をPRする展示場や木工工房、幼児が木の玩具とふれあう木育の教室、地域住民が交流できるスペースとして活用。

●旧芦田小学校跡地  
 一般社団法人SSKTが「児童支援センターえがお芦田」を開設。  
 児童発達支援施設・放課後等デイサービスを含めた多機能型施設の運営、子どもたちの運動支援のための活動、障害者高齢者への健康体操教室、および障害者スポーツ支援を実施。

●旧遠阪小学校跡地  
 企業誘致中。個人事業主や今後起業を考えている方等を対象としたフェア『廃校利活用フェア2018inたんばCITY』の会場としても利用。

## ②青垣工業団地の活性化

 建設機械製造会社 談  
 福知山方面への利便性が向上するため、製造部門強化のための従業員の増大(福知山方面からの人員確保)、また部品外注先の範囲拡大・増強に資するものと期待。

 照明器具メーカー 談  
 福知山市からの従業員の通勤リスクの減少、求人範囲拡大に資するものと期待。



## 事業の有効性・効率性

### (1) 費用対効果

#### ① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益
走行経費減少便益	交通の流れがスムーズになり、燃費などが向上することによる便益
交通事故減少便益	交通事故が減少することによる便益

#### ② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費		
				(百万円)	(百万円)	(百万円)		
道路	道路改築事業 一般国道 429号 [榎峠バイパス]	走行時間 短縮便益	4,151	計画交通量 3,000台/日	3,494	3,224	270	1.3
		走行経費 減少便益	293					
		交通事故 減少便益	231					
		計	4,674					

## (2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路)	○	・国道9号の代替路として災害時の緊急車両等の円滑な走行を確保
		救助・救援活動の支援 (※災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○	・異常気象時通行規制区間が解消
		減災対策への取り組み (※二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	—	—
	平時	救急医療体制の支援	○	・丹波医療センターへのアクセス性が向上
		交通安全対策	○	・幅員狭小や連続した急カーブの解消により事故発生リスクを低減
②地域の活性化	地域間交流の促進	○	・夏祭りをはじめとした青垣・福知山の今も続く地域間交流を支援	
	中心市街地の活性化	—	—	
	地域産業の活性化	○	・青垣工業団地の物流・利便性が向上	
	観光支援	○	・丹波市青垣地域の「体験型観光」や「滞在型交流」など、府県境を越えた広域的な観光連携を支援	
	地域プロジェクト等支援	○	・旧小学校跡地を利用した企業進出を支援	
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	—	—	
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	—	—	

## (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	丹波市長、福知山市長により構成する「国道429号(福知山丹波間)改修促進同盟会」、丹波・福知山両市議会議員、地元自治会により構成する「国道429号(福知山青垣間)改修促進合同協議会」が、毎年早期整備の要望書提出や、決起大会を開催しており、地元の期待が大きい。
-------	---